

令和5年度 帯同審判制導入における進捗状況 報告

《実際に導入してみて感じたこと》

4部のチームに帯同審判制が導入され、所属部関係なく、多くのマネージャーやコーチ、選手、監督が帯同審判としてチームから輩出されました。審判をしていた経験がある方が多く、試合はスムーズに流れていたと思います。

しかし、試合前後の審判で準備に急ぐ場合があったため、割当の組み方に工夫をする必要があると思いました。

また、審判同士でコミュニケーションがとれていないと思われる場面が見られました。(監督が審判をされている時、会話などほとんど見られず、試合を早く終わらせようと選手を急かすような行動が見られたように思います。)

《対応に困った点》

・当日になって、e-ラーニングを受けておらず資格がないためできない、という申し出があった。この日は、他のチームの帯同の方に追加で入ってもらった。
審判部からはチームに連絡や研修も開いており、割当も配信していました。
翌日までに、コーチの方にe-ラーニングを受けてもらい、翌日以降は担当してもらうように伝えた。他のチームにも迷惑をかけてしまうことと、当日の学連業務に加え、急な対応となり、バタバタしてしまった。

《改善点》

・4部所属の帯同審判を割当する場合、担当時間と試合時間も考慮し、割当をする必要がある
→ただし、なるべく考慮したいところですが、1~3部所属の帯同審判を割当する際、同日に別会場にて自チームのゲームがある場合にも、割当の調整によっては、帯同審判の割当をする場合があることは了承いただきたいです。

・割当の確認不足により、当日来ず、他のチームの方に追加で入ってもらった
→【対策案】各チームに割当確認の返信をしてもらうようにして、その返信を審判部でチェックして、確認漏れを防ぐ 等

令和5年9月24日

《今後に向けて》

- ・帯同審判制が導入され初年度ではあったが、帯同審判を輩出してくれるチームが多く、協力してくれている姿が多く見られました。
- ・帯同審判制導入が初年度ということもあり、審判をしたことがない、実践経験がないというチームもあった。今後、帯同審判制の導入を定着させていく中で、リーグ戦前にzoom講習の開催をして不安や抵抗感を緩めていければと思います。
- ・オンザコートさんからの審判着の配布によって、チームへの負担も軽減できたことは、ありがたかったです。